

「豊かな体験活動」

静岡県小山町立北郷中学校

1 地域の特徴

(1) 地域の実態

北郷地域は、1707年（宝永4年）の富士山（宝永山）の大噴火による壊滅的な災害を克服し復興した不屈の歴史がある。また、昔から県東部の代表的な穀倉地帯である。そのため郷土意識や近隣同胞意識が脈々と息づいている地域である。

しかし、近年、レジャー産業や工業団地等の大規模な開発により、第二次産業や第三次産業を中心とした企業が進出してきており、それに伴い、保護者の大多数は会社員や公務員となり、兼業農家が増加している。また、他地区から転居する人々も見られ、ものの考え方や生活様式が多様化してきている。

(2) 生徒の実態

地域社会の変化にもかかわらず、生徒は全体的に純朴さと勤勉さを失うことなく、明るく伸び伸びとした学校生活を送っている。問題行動はほとんどなく、係活動や奉仕活動・諸活動等に一生懸命取り組む姿が見られる。しかし、その一方で学習や物事に対する取組に主体性や積極性がやや不足しているという課題を残している。

そこで、教育活動全体を通して、自ら考え判断し、表現する場を多く設定し、学んだことを生かしたり、自らの生き方を考えたりするような「生きる力」をはぐくんでいきたい。

生徒数 1年 66名 2年 77名 3年 53名 合計 196名

* 本推進事業の主な対象学年は2年

2 活動のねらい

絶え間なく変化する社会と本校の生徒の実態から、自ら考え、判断し、表現して主体的に活動できる能力や豊かな人間性などの「生きる力」をはぐくむことをねらいとした。このようなねらいを達成するためには、学校生活の中ではなかなか体験できない自然体験や社会体験等の場を多く設定し、社会性や協力性、主体性を学ぶことのできる機会を設けることが必要である。

3 活動内容及び実践経過

自然にかかわる体験活動を4日間、勤労生産にかかわる体験活動を2日間、職場・職業・就業にかかわる体験活動を1日、年間計7日間の体験活動を計画し実施した。

自然にかかわる体験活動では、自然の中で共同生活を体験し、先人たちの生活の知恵を学び、豊かな人間性をはぐくむことを目的とした。

勤労生産にかかわる体験活動では、郷土の森林の保護の実態を知り、実際に枝打ちや雑木の整理をすることにより、勤労及び自然愛護の気持ちををはぐくむ。また、自校の畑で育てたサツマイモを収穫する喜びを味わい、豊かな人間性をはぐくむことを目的とした。

職場・職業・就業にかかわる体験活動では、職場体験をすることにより、実社会の一

員として大人の世界に加わり、一定の役割や責任を体験し、働くことの大切さを学ぶことを目的とした。

(1) 自然体験学習

活動場所

- ・ いろいろの里大平宿（長野県飯田市大平宿）
- ・ キープ自然学校（山梨県高根町清里）

実施日 平成14年6月11日(火)～14日(金) 3泊4日

目的

ア 自然の中で、先人たちの生活の知恵、食の原点、歴史と伝統文化を学び、共同生活体験を通して、協調性・社会性をはぐくむ。

イ 郷土では体験できない酪農を体験することにより、豊かな人間性をはぐくむ。

ウ 自主的、協力的に計画に加わり、主体性を育てる。

日程

【11日(火)】 大平宿泊

旧校舎運動場で入村式後、各民家（宿泊場所）に移動し、その後、荷物整理、物品確認、夕食準備、火おこし、風呂たき、夕食、入浴

【12日(水)】 大平宿泊

自然学習・・・ハイキング、スケッチ、釣り、自然観察、外遊び等

【13日(木)】 清里ペンション泊

午前中は清掃を中心に活動、その後、退村式を行い清里ペンション村へ移動

【14日(金)】

キープ自然学校で酪農体験・・・牛舎の清掃、牛追い、乳搾り、バター作り
帰校

引率教員及び支援者

- ・ 引率教員：校長、養護教諭、2年部職員3名 合計5名
- ・ 支援者：PTA会長、PTA学年委員長・副委員長、前PTA会長、
学生ボランティア11名（大学生）
PTA関係者・・・トラックにより荷物の運搬、食料の買い出し等
学生ボランティア・・・生徒体験活動の支援

交通手段 マイクロバス4台

成果

長野の大平宿の活動についての事後アンケートでは、「人に言われなくても自分から進んでやることができた」「自分は手が汚れる仕事も平気になった」等の感想が多く見られた。これらは、思っていた以上に積極的に活動できた自分に対しての生徒自身の充実感であると思われる。

この体験が直接的、間接的に自分自身を見つめ、日頃の生活を見直すよい機会になったことは確かであり、「協調性」「主体性」「豊かな人間性」という面でプラス方向の変化が見られ、当初の目的が達成された行事であった。

また、清里のキープ自然学校での酪農体験では、牛舎の清掃、牛追い、乳搾り、牛乳からのバターの作り方と、郷土では体験しえない貴重な自然との触れ合いがで

きたことは、豊かな人間性をはぐくむ上でもよい体験であった。

(2) 勤労体験学習

活動場所 北郷県営林（小山町大御神角取山）

実施日 平成14年11月13日（水）

目的

ア 郷土の森林を守る「創林隊」(NPO)の人たちの指導のもと、森林の雑木の整理等を体験することにより、勤労の気持ちをはぐくむ。

イ 森林の雑木の整理が森林の保護及び鳥獣の保護に役立つことを知り、自然愛護の気持ちをはぐくむ。

ウ 自主的、協力的に行動する姿勢をはぐくむ。

引率教員及び支援者

引率教員：校長、2年部職員3名

支援者：NPO理事4名、2年部保護者

成果

北郷県営林での枝打ち、雑木の整理等の直接体験を通じて、北郷地区の豊かな森林の維持保全のために様々な人がかかわっていることなど、環境保全の仕組みを学習することができた。さらに、森林を管理する人たちと同じ作業を行うことで、終わった時の整然とした森林を見ての満足感を味わうことができ、勤労の大切さと自然愛護の気持ちをはぐくむよい機会となった。

(3) 勤労生産体験学習（収穫祭：農業体験のまとめ）

活動場所 自校畑、運動場、体育館、家庭科室（調理室）

実施日 平成14年11月28日（木）

目的

ア 自校の畑を利用して栽培したサツマイモを収穫する喜びを味わう。

イ 収穫したサツマイモを焼き芋などいろいろな形で調理し、自分たちで育てたサツマイモを食べることにより、収穫した喜びを味わう。

ウ サツマイモが焼ける間の球技大会を自分たちで計画することにより、自主性・協力性をはぐくむ。

指導教員 2年部職員3人

成果

自校の畑で丹精込めて育てたサツマイモを収穫し、焼き芋や大学いもなどいろいろな形に調理し、試食することにより収穫した喜びを味わい、自分たちで畑の畝作りから栽培、収穫、試食まで成し終えた満足感、また、食物の大切さを実感し「豊かな人間性」という面においても目的を達成することができた。

(4) 職業体験学習

活動場所（受け入れてくれた事業所等の数）

28事業所（町内20 町外8） 町外は全て御殿場市

実施日 平成15年1月23日（木）

目的

ア 職場で働く人たちの姿を直接見聞することにより、世の中の仕組みや望ましい

職業観・勤労観について理解を深める。

イ 実際に仕事を体験することにより、職業人・社会人としての厳しい生き方を学び、健全な基本的生活習慣・態度を身につける。

ウ 将来の生活の視野を拡大することにより、自己の生き方を考え、目標実現への学習意欲を高める。

教師の動き及び支援者の活動

・校長、2年部職員3名

各事業所を回り、事業所へのお礼及び生徒の体験学習の状況を把握する。

・支援者（保護者）

事業所の確保及び事業所への生徒の送迎。

成 果

協力していただける事業所の確保に大変さがあったが、保護者が積極的に探してくれるなど、保護者との協力体制が確立できた。実際に働くことにより、職業観・勤労観が理解でき、将来どんな職業に就きたいか考えたとき、こうした職業体験活動が役に立つと考えられる。

4 評価

それぞれの体験活動については、感想文や学習のまとめの記述及び発表会での報告内容を分析し評価した。特に、自然体験学習については、事前と事後に保護者と生徒に同様のアンケートを実施し、心情的変化を読み取り評価を行った。

5 次年度への課題

教育課程上の位置づけ

本校では、この「豊かな体験活動」の時間の多くを「総合的な学習の時間」に位置づけ実施してきた。しかし、「総合的な学習の時間」については本校のテーマ「みずなの里と共に生きる」との関連性が希薄であった。このため、次年度で、「総合的な学習の時間」に位置づける場合、相互のねらいに関連性を持たせて実施していきたい。